

令和5年度 学校経営計画書

学 校 名 三次市立神杉小学校

校 長 名 赤木 実

I 学校の状況

学級数	8学級	児童・生徒数	96名	教職員数	20名
メールアドレス	kamisugi-e@school.miyoshi.hiroshima.jp				
ホームページ アドレス	http://www.school.miyoshi.hiroshima.jp/elementary/kamisugi/				

II 学校教育目標

豊かな人間性と確かな学力をもち、自ら伸びる子どもの育成
(やさしく かしく たくましく)

III 使命・存在意義（ミッション）

変化の激しいグローバル社会の中、児童が夢や目標をもち、それを実現するため主体的に自分の人生を切り拓いていく基礎を培う質の高い教育を行う。そして、ふるさとを愛し、「知・徳・体」のバランスのとれた児童を育成し、次代を担う自覚が育つ「地域とともにある学校」づくりを進める。

- ・ 子どもたちが夢や目標をもち、自ら伸びる学校
- ・ 教職員が指導力向上に努める学校
- ・ 家庭や地域社会の期待に応える学校
- ・ 保小中高で連携して教育に取り組む学校
- ・ 子どもたちが安全・安心に学べる教育環境を整える学校

IV 重点事項（努力点）

○ 自ら考え、判断し、行動できる「自律」した子どもの育成

- ・ 自己肯定感・有用感の向上を図る。
- ・ 目標に向かって最後まであきらめない態度を育成する。

○ 主体的に学びに向い、自分の考えを高めようとする子どもの育成

- ・ 「自分の考えを豊かに表現する児童の育成 ～必然性のある授業を通して～」を研究主題に掲げ、算数科の授業改善をさらに進める。
- ・ I C Tの効果的な活用と外国語教育のさらなる充実をめざす。
- ・ 特別支援教育の視点に立ち、関係機関等と連携を図りながら、児童の実態に応じた指導を組織的に進める。

○ 「地域とともにある学校」づくり

- ・ 地域の教育力を活用した、神杉ならではの教育内容を充実させる。
- ・ 塩町中学校区小中一貫教育の充実を図り、共通取組事項である「5つの約束」「めざす資質・能力」の定着を図る。さらに中学校区でのコミュニティ・スクールを推進する。

V 中心価値・行動規範

児童、保護者、地域から信頼され、魅力ある学校

(魅力ある学校)

児童：学んでよかった

保護者：通わせてよかった

地域：一緒にやってよかった

教職員：勤めてよかった

VI 現状分析

外 部 的 要 因	○（支援的要因） <u>【地域】</u> ・学校へ寄せる期待が高く、学校や子どもとのつながりが強い。（行事への参加，G T等） ・自治会連合会，J Aひろしま，民生委員会，読み語りボランティア等，学校教育に理解があり大変協力的でお願いしやすい。 ・学習素材（自然・歴史・文化・施設）や人材が豊富。 ・保育所が隣接しており，日常的な交流ができる。 ・保小中高間の協力体制ができています。 <u>【市教委】</u> ・適切な人的措置がある（学校支援員・介助指導員・英語専科加配・非常勤講師等）。 ・働き方改革への取組が進んでいる。 ・ふるさと三才を愛する心を育むための体験活動が重視されている。 ・タブレット端末の一人一台導入とICT教育に対する支援がある。 ・相談しやすい。 <u>【県教委】</u> <u>【国】</u> ・働き方改革の推進がされている。 ・人材育成への支援ある。（研修機会の充実）	S（強み） <u>【学校】</u> ・児童数の変動が少ない。活動を工夫しやすい規模で，全職員で全校児童を指導できる。 ・職員は職務に対する向上心を持ち，若い力とベテランの力を出し合って責任を果たしている。 ・本校の伝統的な取組を大切にしている。（選択と集中） <u>【児童】</u> ・外でよく遊ぶ。 ・元気よく挨拶する子が多い。 ・異年齢の交流が多く，学年を越えて仲が良い。 ・高学年がリーダーシップを発揮している。 ・地域行事や地域体験学習，弁当の日の取組に意欲が高い。 ・運動朝会の工夫と新体力テストの結果に基づき取り組んでいる。 <u>【保護者】</u> ・保護者同士の繋がりが強い。 ・学校に対して大変協力的である。 ・P T A行事等，積極的に関わる人が多い。 ・前向きでマイナス発言が少ない。	内 部 的 要 因	支援的要因と強みを生かした活動・取組 ☆表現力の育成（話すこと） ＊主体的・対話的に学ぶ児童の育成（課題発見・解決学習を軸とした授業づくり ＊日々の授業における児童間の必然性のある対話 ☆特別支援教育の充実 ＊校内支援体制の充実と日常的な研修・専門機関との連携・指導の工夫 ☆「地域とともにある学校」づくり ＊地域の教育力を活用した神杉ならではの教育内容の充実（生活科・道徳科・総合的な学習の時間の工夫やG・T招聘） ＊保護者・地域と連携した弁当の日の継続（6年生おすめレシピと学級園の野菜の活用） ＊小中一貫教育の充実とCS開始に向けた準備 ☆運動朝会の充実
	T（阻害的要因） <u>【地域】</u> ・子どもたちとの距離が近すぎることの弊害がみられる（子どもの態度・言葉づかい・呼び捨て等）。 ・子育てをめぐる社会の変化が激しい。 <u>【市教委・県教委・国】</u> ・予算が削減される。	W（弱み） <u>【学校】</u> ・取組の継続，徹底について職員の意識に差がある。 ・子どもたちに寄り添いすぎている。 ・地域の教育力の高さに甘えている。 <u>【児童】</u> ・自己肯定感・有用感が低い。 ・相手に応じた態度や言葉づかいが課題。 ・健康・安全への意識の低さ ・メタ認知ができにくい。 ・基本的な生活習慣の確立。（視力1.0未満の児童の増加） ・日常的なあいさつ <u>【保護者】</u> ・年代の違いによる教育力の差やつながりの偏りがある。 ・メディアとの付き合い方。		弱みを克服し，阻害的要因を回避する解決策 ☆「自律」した子どもの育成 ＊児童一人一人にリーダーとしての責任と場を与える ＊児童会活動，縦割り班活動の充実 ＊代表委員会と学級会活動をつなぐ話し合い活動の充実 ☆積極的な生徒指導の充実 ＊規範意識の育成 ＊生活リズムチェックの継続 ＊粘り強い保護者啓発

塩町中学校区小中一貫教育身に付けさせたい資質・能力

○知識・技能
○思考力 ○判断力 ○表現力
○主体性 ○協働性

Ⅶ 中期経営目標及び短期経営目標

	中期経営目標	短期経営目標	具体的な取組・方策
知 確かな学力	主体的な学びの創造により学力の向上を図る。	基礎・基本の学力の <u>確実な定着</u> ， <u>向上</u> を図る。	「<u>学習の構え</u>」づくり ・学習規律，学習準備の徹底させる。 「<u>学習の基盤</u>」づくり ・算数の時間や「やるゾウタイム」に繰り返し計算練習やタブレットドリル等を行い，<u>基礎学習を徹底</u>させる。
		思考力・判断力・表現力の育成を図る。	・<u>伝える相手を意識して，自分の考えを分かりやすく伝える場を設定した授業づくりを行う。</u>
		自主的な学習態度を育てる。	・課題発見・解決学習を軸とした授業づくりを行う。 ・<u>自主学习</u>を中心とした家庭学習の充実を図る。
徳 豊かな心	規範意識，礼儀正しく節度ある言動，思いやりの心を身につけさせ，望ましい集団づくりを進める。	<u>自ら考え，判断し，行動できる自律心を育てる。</u>	・児童に様々な場面でリーダーを経験させ，<u>リーダーとしての自覚と責任を持たせる。</u> ・<u>児童会活動，縦割り班活動の充実</u>
		挨拶や言葉づかい等，場や相手に応じた態度と感謝の心を養う。	・<u>友だちや上級生，下級生の良いところを認め，励まし合う活動</u>を充実させる。 ・全職員が<u>毅然とした対応</u>を徹底する。
体 たくましい体	体力の向上と生活習慣の改善を図る。	児童の体力の向上を図る。	・<u>運動朝会</u>の内容や方法を工夫し，<u>楽しんで基礎体力を向上</u>できるようにする。
		健康な体（特に視力）をつくろうとする気持ちを育てる。	・「弁当の日」の取組を工夫し継続する。 ・腰骨立てやメディアとの付き合い方についての指導や啓発活動を充実させる。
開かれた学校	信頼と協調に支えられた地域とともにある学校づくりを推進する。	積極的な情報発信を行い，保護者満足度の向上をめざす。	・HPや各種級通信などで情報を積極的に発信し，保護者と連携を深める。 ・学校の相談機能を充実する。（迅速で丁寧な組織的対応） ・<u>業務改善</u>を進める。
		地域とともにある学校づくりをさらに進める。	・地域の方と<u>主体的な連携</u>を深める。 ・コミュニティ・スクールに向け，小中連携して組織的に準備を進める。

新

継続課題

新しい取組

レベルアップ